

「日本静脈経腸栄養学会認定 NST 稼働施設」としての活動について

●はじめに

このたび、当病院は（社）日本静脈経腸栄養学会より「平成 28 年 NST 稼働施設」に認定されました。この認定を受けるには、栄養評価の実施、NST 治療計画書の作成、定期的な NST 回診・検討会・勉強会の実施などの基準をクリアする必要があります。

当病院はこの基準を満たしており、当学会主催の医師向け臨床栄養教育プログラム（TNT）を鈴木千衣子内科部長が修了し（当病院は近藤浩史外科部長と 2 名が TNT 修了医）、NST の運営・活動を積極的に進めていることが評価されました。

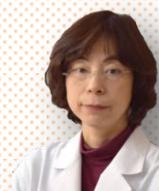
●鈴木千衣子医師からのメッセージ

健康を保ち、病気を治すために必要な体力を支えるのは適切な食事です。年齢や体格、運動量などに応じて各々の必要な栄養量は異なるため、入院中には病状や全身状態に応じた食事を提供することが大切です。

食事を飲みこむことが苦手になった方への介助にも工夫やコツがあります。これらの食事に関する新しい知識や技術を患者さんへ正しく提供出来るように、院内のスタッフを教育することも当院の栄養サポートチームの活動の一環です。

日本静脈経腸栄養学会

TNT 研修医



内科部長

鈴木千衣子 医師
(内科、消化器内科、
内視鏡内科)



外科部長

近藤浩史 医師
(外科、消化器外科、
乳腺外科)

これまで経管栄養の患者さんは栄養投与に毎回 2 時間以上要していました。患者さんはその間動くことが出来ないため、投与時間を短くできるよう栄養剤の種類や投与方法を NST の主導で変更しました。下痢の状態なども病院全体で検討し、栄養面での対応など毎週確認し工夫と対策を行っています。

また、食べる量が減った方には半分量の食事が提供されていました。とはいえ、栄養量が半分になっては体へ負担がかかります。そこで少ない量でも栄養が不足しないよう、栄養科と工夫し個別の食事を提供するようになりました。現在は病棟内での活動が中心ですが、今後は在宅へも活動の幅を広げていきたいと考えています。



NST 稼働施設認定証

当院で提供しているお正月料理（飲み込みの難しかった方用）